

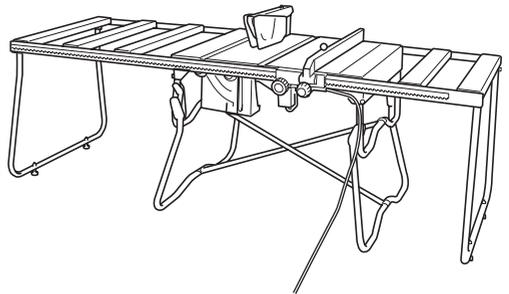
Makita

取扱説明書

255mm マルノコ盤

モデル **2701N**
(電気ブレーキ付)

モデル **2701N(P)**
(電気ブレーキ付)



本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**255mmマルノコ盤**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ マルノコ盤安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	14
・ 組み立て方	16
・ 組み立て方法	16
・ レッグの組み立て方	17
・ ノコ刃の取り付け・取りはずし方	18
・ 安全ガイドの取り付け方	20
・ 平行定規の取り付け方	21
・ ノコ刃と平行定規との平行	21
・ 平行定規の使い方	22
・ 平行定規の固定力の調整	22
・ テーブル側の目盛りの位置調整	23
・ サブテーブル L、サブテーブル R の取り付け方	24
・ サブテーブル L の目盛の位置調整	26
・ サブテーブル R の目盛板の位置調整	26
・ 集じん機との接続例	27
・ 機械の据え付け	27
・ 使い方	28
・ 切り込み深さの調整	28
・ 傾斜角度の調整	28
・ 90° 調整	29
・ スイッチの操作	30
・ 切断作業	31
・ 工具の収納	31
・ 別販売品の使い方	32
・ 傾斜定規	32
・ 運搬・保管について	33
・ レッグの折りたたみ方	33
・ 保守・点検について	34
・ カーボンブラシの交換	34
・ 本製品のお手入れ	34
・ ご修理の際は	34

主要機能

主要機能		モデル		2701N・2701N (P)	
電動機		直巻整流子電動機			
電圧		単相 100 ボルト			
電流		15 アンペア			
周波数		50-60 ヘルツ			
消費電力		1,430 ワット			
回転数		3,700 min ⁻¹ (回転/分)			
刃物寸法		外径 255 mm × 内径 25.4 mm			
		使用可能ノコ刃	外径 203 mm ~ 255 mm		
			ノコ身厚さ	1.8 mm 以下	
			あさり幅	2.1 mm 以上	
最大切り込み 深さ	90°	92 mm			
	45°	60 mm			
切り込み幅	右	950 mm			
	左	950 mm			
本製品寸法		長さ 2,105 mm × 幅 700 mm (レッグ幅 850 mm) × 高さ 722 mm			
質量		40 kg			

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|---|--|
|  警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
|  注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

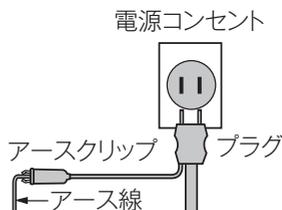
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、マルノコ盤として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 必ず接地（アース）してください。

- 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



- アース付（3ピン）電源コンセントの場合

2. 3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）

アース付（3ピン）
電源コンセント



- 2極電源コンセントの場合
- ### 3. アースクリップをアース線に接続してください。

- アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

2極電源
コンセント



※ 労働安全衛生規則 第 333 条・第 334 条

電気設備の技術基準 第 18 条・第 28 条・第 41 条

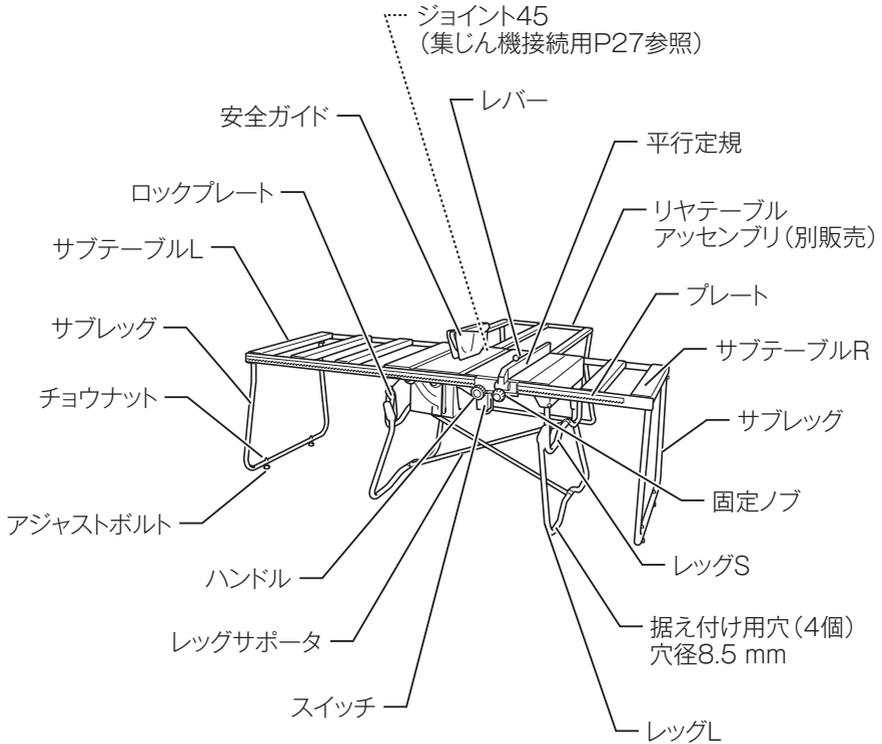
⚠ 警告

4. アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 爆発の恐れがあります。
5. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・ アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
6. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
7. 安全ガイドは絶対に固定したり取りはずしたりしないでください。また、円滑に動く事を確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
8. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。特にこの身の厚さは、割刃の厚さより薄いノコ刃を使用してください。
 - ・ 反ばつなどにより、けがの原因になります。
9. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用して使用しないでください。
 - ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
10. 使用中は、ノコ刃や回転部に手や顔を近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
11. 手がノコ刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）など治具を使用してください。
12. 使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。
 - ・ 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
13. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。
 - ・ ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。
14. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. テーブルの上に、工具や切断片などを放置したまま作業しないでください。
 - ・ テーブルの上のものが飛散し、けがの原因になります。
4. ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。
 - ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
6. 材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 平行定規は、確実に固定してください。
 - ・ 固定が不十分な場合、材料がこじれてけがの原因になります。
8. 作業台がわりにテーブルの上に乗らないでください。
 - ・ 思わぬ事故の原因になります。

各部の名称および標準付属品

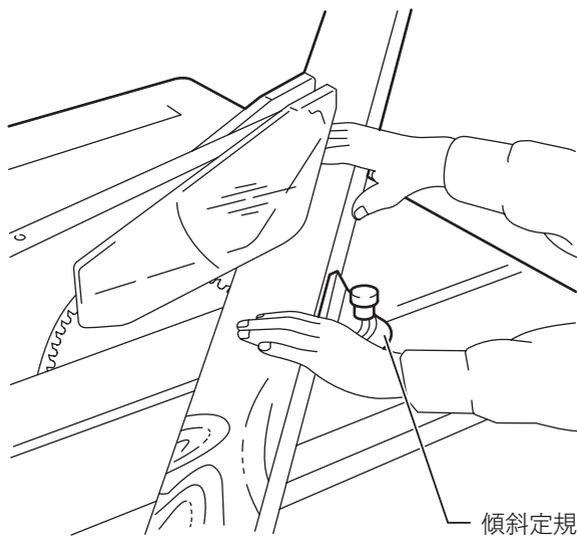
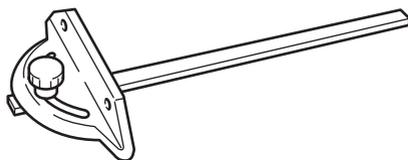


標準付属品

- ・ チップソー (A-16134)
- ・ 平行定規
- ・ ボックスレンチ 13-17
- ・ メガネレンチ 22

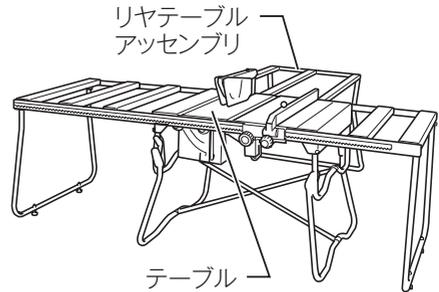
別販売品のご紹介

- 傾斜定規
部品番号：192502-1
(平行定規で作業しづらい長尺物は傾斜定規を使用すれば便利です。)

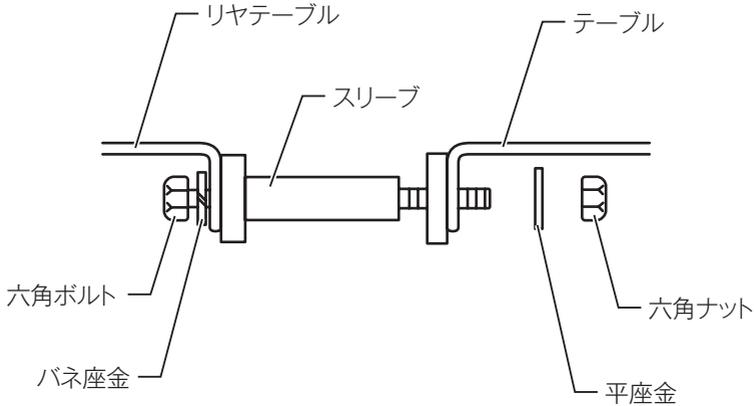


別販売品のご紹介

- ・ リヤテーブルアッセンブリ
部品番号：192503-9
- ・ コンパネなど長尺物の縦切断に使用すると便利です。



- ・ テーブルへの取り付けは下図のように取り付けてください。



- ・ チップソー

NO.	外径 (mm)	内径 (mm)	刃数
A-16134	255	25.4	72
A-10338			
A-01862			50

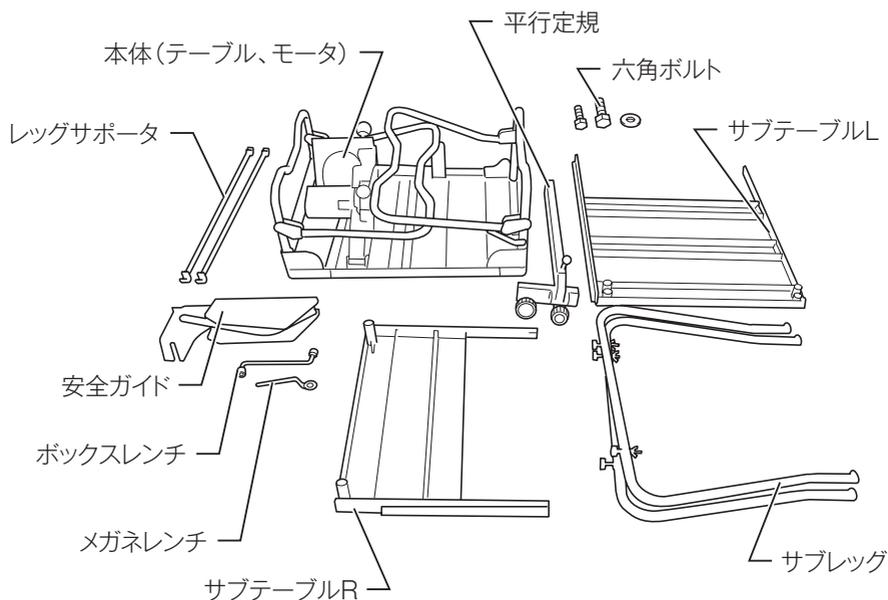
組み立て方

組み立て方法

⚠ 警告

組み立ての際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントより抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。
- ・ 本製品をダンボールケースから出しますと図のような部品、工具より構成されていますので確認してください。

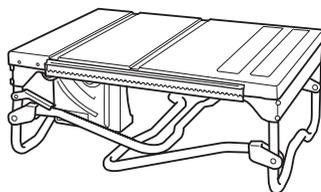


- ・ 本製品の組み立ては、次の順序で行ってください。

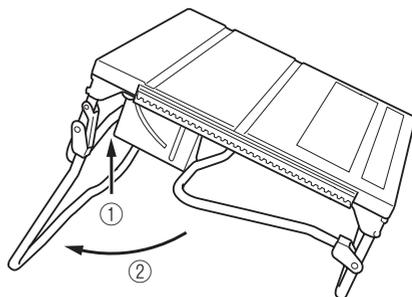
組み立て方

レッグの組み立て方

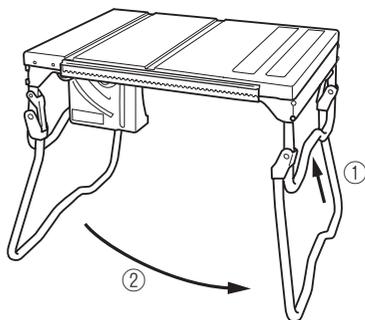
1. 本体をダンボール箱から出し、上下反転させ、レッグSが床に付く様にします。



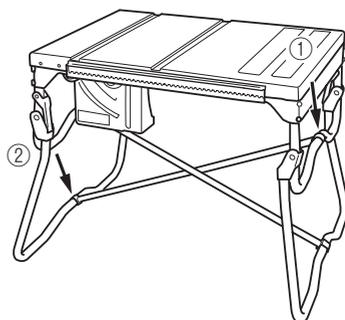
2. レッグSの中央を片手で持って、本体を持ち上げ、もう一方の手でレッグLを外側いっぱいまで開きます。



3. もう一方も2と同様に開きます。



4. レッグサポータのフックを、レッグSの中央にはめ込みます。もう一方のフックを、反対側のレッグLの中央部にはめ込みます。もう一本も同様に行います。



組み立て方

⚠ 警告

ノコ刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

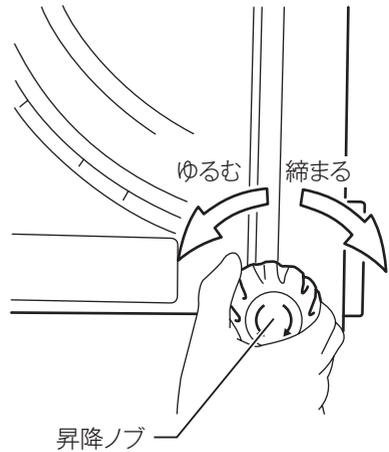
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

ノコ刃は、外径 203 ~ 255 mm ・ 厚み 1.8 mm 以下 ・ あさり幅 2.1 mm 以上のものを使用してください。

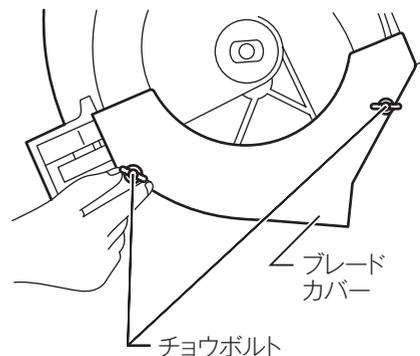
- ・ これにあてはまらないノコ刃を使用しますと、けがの原因になります。

ノコ刃の取り付け・取りはずし方

- ・ 昇降ノブを左に回し、ゆるめた状態で下にいっぱい下げ、右に回してノブを固定してください。

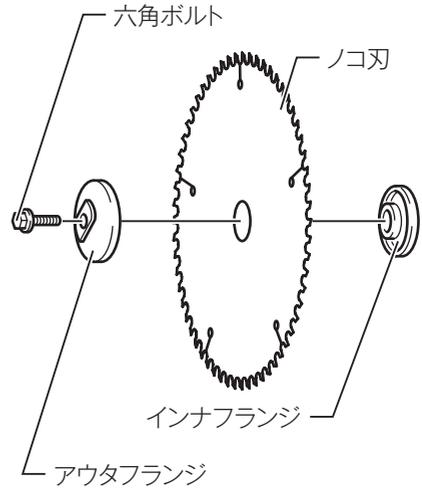


- ・ チョウボルトをゆるめて、ギヤハウジングに取り付いているブレードカバーをはずしてください。

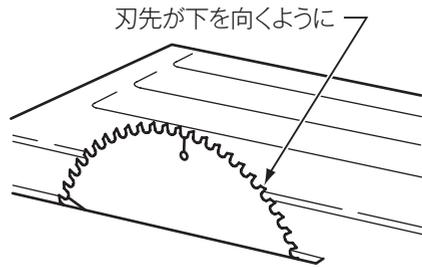


組み立て方

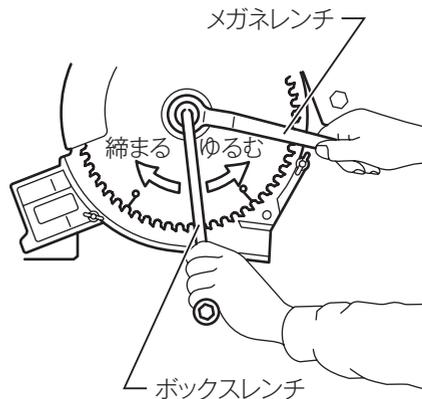
- ノコ軸にインナフランジ→ノコ刃→アウトフランジ→六角ボルトの順に組み付けてください。



- このとき、ノコ刃は、テーブルの手前で刃先が下を向くように取り付けてください。



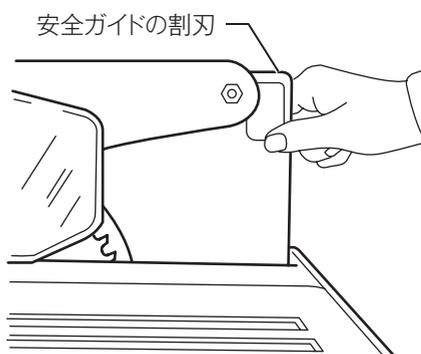
- 締め付けは、アウタフランジにメガネレンチをはめ固定し、ボックスレンチで六角ボルトを右に回して締め付けてください。
- 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。
- インナフランジには、ホイール内径 25 用と 25.4 用 (25.4 の刻印あり) の 2 面があります。ご使用になるホイールの内径に合った面を使ってください。



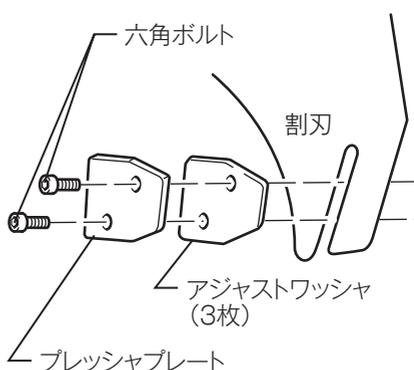
組み立て方

安全ガイドの取り付け方

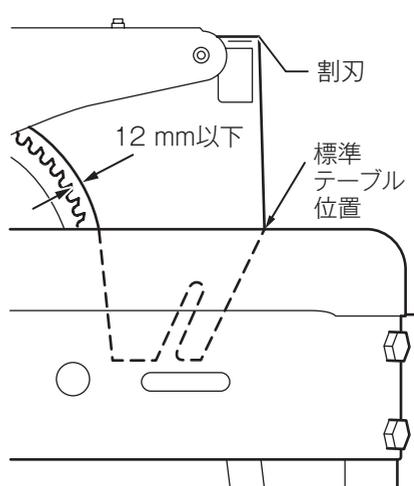
- 安全ガイドの割刃をテーブル後部（ノコ刃後部）にある長穴に差し込み、安全ガイド取り付け部と押さえ板の間に入れてください。



- 次に安全ガイド取り付け部に付いている六角ボルトを軽く締め付け、割刃がノコ刃の側面より出ていないか確認してください。もしずれているときは、アジャストワッシャで出ないように調整してください。



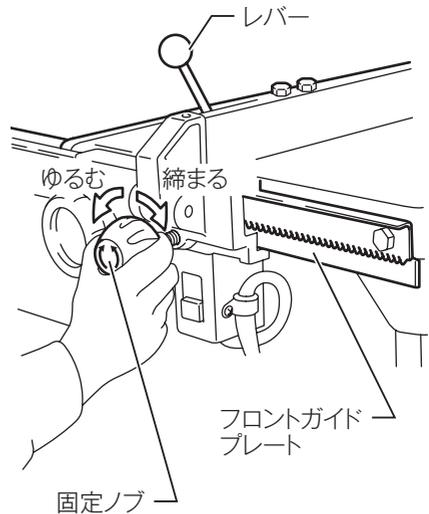
- 割刃とノコ刃の刃先の間隔が 12 mm 以下になるように調整してください。外径 255 mm のノコ刃の場合は、割刃の「標準テーブル位置」がテーブル面と同じ高さになるようにしてください。このとき割刃とノコ刃の刃先の間隔は 5 ~ 6 mm になります。
- 調整が終わりましたら 2 つの六角ボルトで安全ガイドをしっかりと固定してください。
- 安全ガイドがスムーズに作動することを確認してください。



組み立て方

平行定規の取り付け方

- 平行定規をテーブルに取り付けるときは、固定ノブを左に回してゆるめておき、レバーを手前に引き、フロントガイドプレートに定規の溝を合わせて差し込んでください。



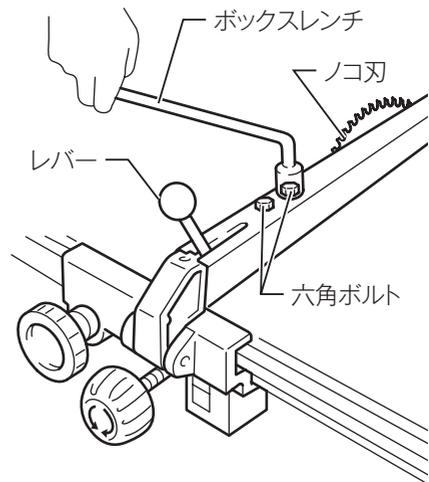
ノコ刃と平行定規との平行

⚠ 注意

平行定規は必ずノコ刃と平行に調整してください。

- 平行でないとノコ刃をこじて、けがの原因になります。

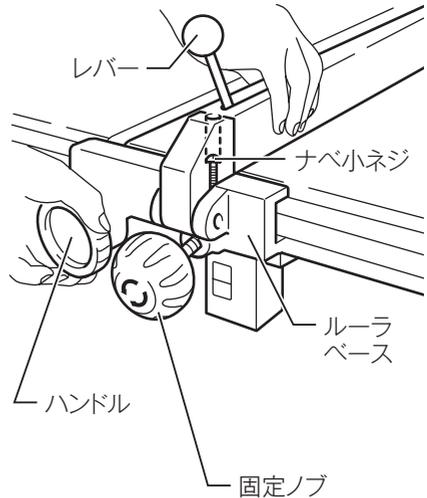
- ノコ刃と平行定規が平行になっていることを確認してください。調整する場合は、平行定規の2個の六角ボルトをボックスレンチでゆるめ、ノコ刃に平行定規を密着させてノコ刃と平行にした後、六角ボルトを締め付けてください。



組み立て方

平行定規の使い方

- ・ 平行定規は、固定ノブを右に回して締め付けてからレバーを後方に倒すと固定できます。
- ・ 定規を早送りしたいときは、レバーを起し、ハンドルを手前に引いた状態で移動させてください。
- ・ 平行定規の移動がスムーズでない時は、ナベ小ネジでルーラベースを軽く押さえて調整してください。

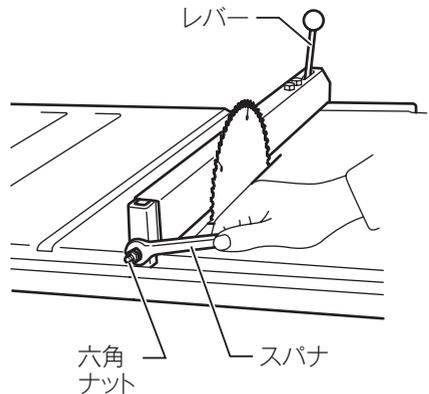


注

- ・ レバーをノブよりも先に倒して固定すると平行定規とノコ刃が平行にならないことがあります。

平行定規の固定力の調整

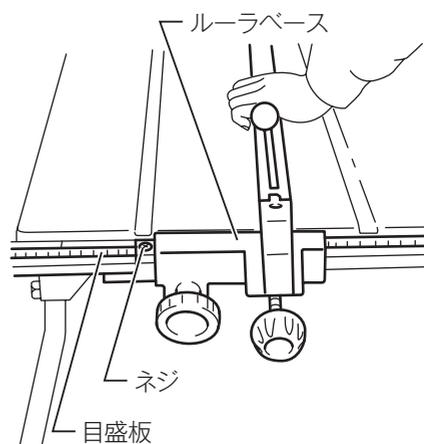
- ・ レバーを後方に倒しても平行定規の後側が動きやすいときは、レバーを手前に引いた状態で後方の六角ナットをお手持ちのスパナで右に回して固定力を増してください。このとき、およそ半回転ずつ回して固定力を確認し、調整してください。



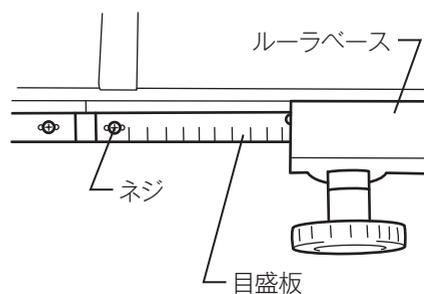
組み立て方

テーブル側の目盛りの位置調整

- 平行定規をノコ刃の右側に密着させて平行定規を固定し、ルーラベースの左端が目盛板の0を示していることを確認してください。



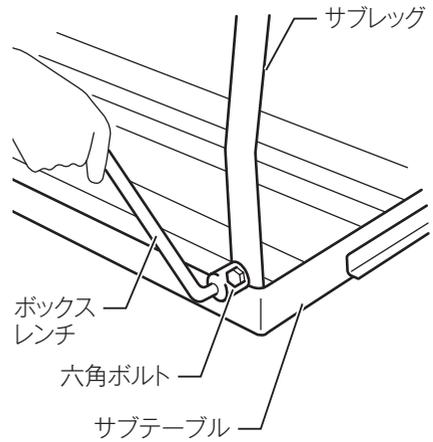
- 目盛板がずれている時には、目盛板のネジをゆるめルーラベースの左端が0になるように調整してください。



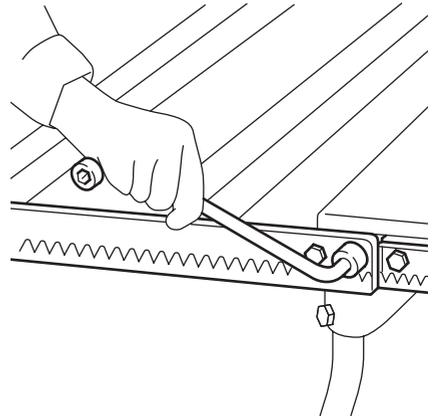
組み立て方

サブテーブルL、サブテーブルRの取り付け方

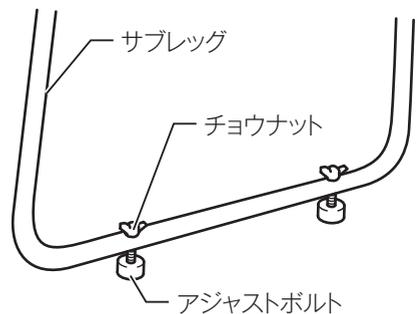
- ・ サブレッグをサブテーブルL、サブテーブルRに差し込み六角ボルトを締め付けてください。



- ・ サブテーブルL、サブテーブルRの穴と本体テーブルのネジ穴を合わせ、六角ボルトで取り付けてください。ただし、このとき各ボルトは仮締め状態にしてください。



- ・ サブレッグが地面に垂直になるようにしてください。アジャストボルトを回して高さ調整をし、アジャストボルトがゆるまないようにチョウナットを締め付けてください。

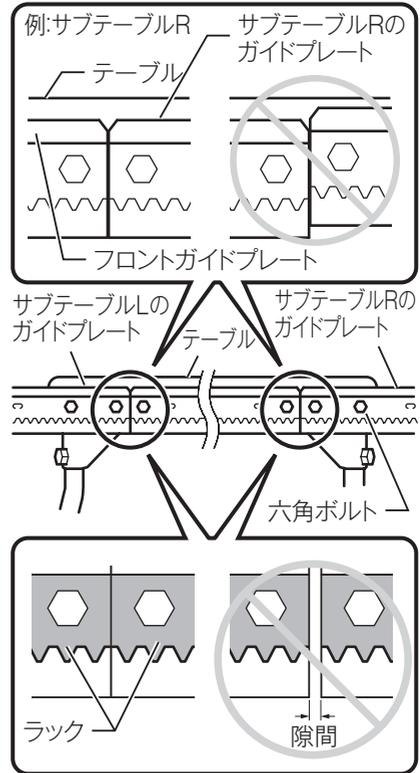


組み立て方

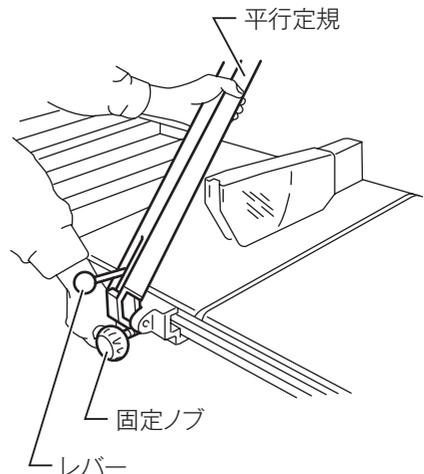
- ・ テーブル、サブテーブルL、サブテーブルRの高さを合わせてください。
- ・ フロントガイドプレートとサブテーブルL、Rのガイドプレートの高さを合わせてください。
- ・ ラックを密着させて仮締めした六角ボルトをしっかりと締め付けてください。

注

- ・ ラックの間に隙間ができないように組み立ててください。
 - ・ 隙間があると、平行定規がスムーズに移動できない場合があります。



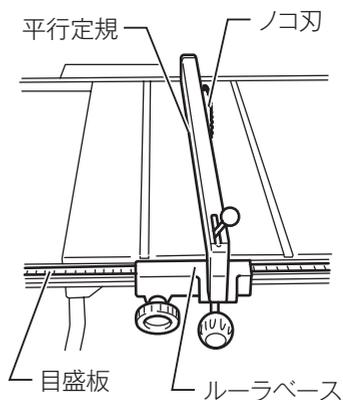
- ・ 安全ガイドを乗り越えて平行定規を移動させるには、平行定規の固定ノブをゆるめ、レバーを手前に引いた状態で平行定規を持ち上げて、安全ガイドの上を越し移動させてください。



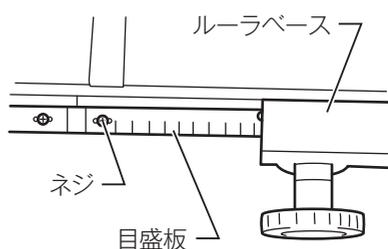
組み立て方

サブテーブルLの目盛の位置調整

- 平行定規をノコ刃に対して左側に密着させて平行定規を固定し、ルーラベースの左端が目盛板の0を示していることを確認してください。

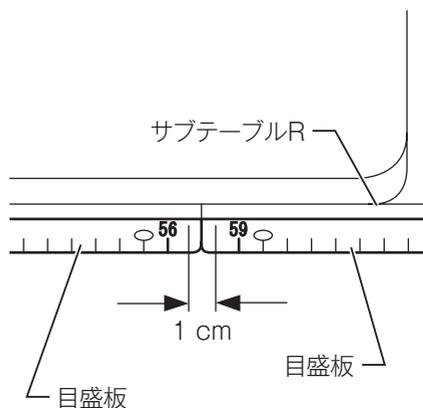


- 目盛がずれている時には目盛板のネジをゆるめ、ルーラベースの左端が目盛板の0を示すように調整してください。



サブテーブルRの目盛板の位置調整

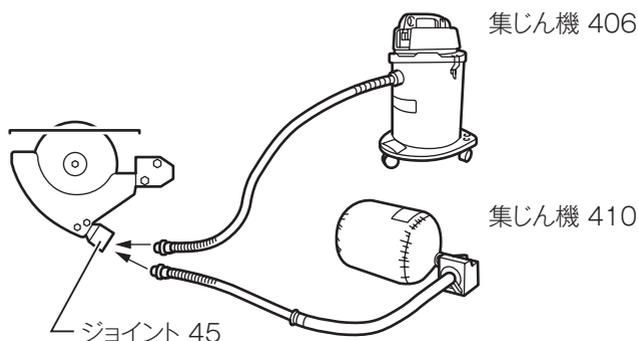
- 本体テーブルの目盛板を調整した後、57 cmのところから1 cm 離れたところに目盛板を取り付けてください。



組み立て方

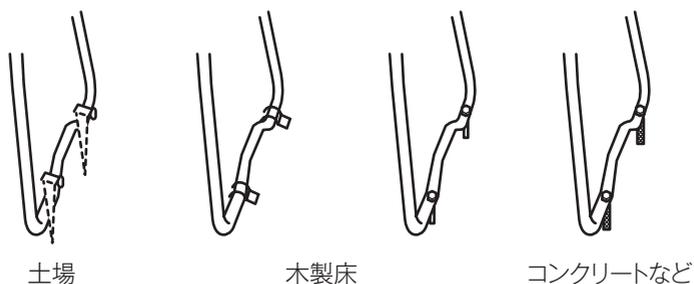
集じん機との接続例

- ・ テーブル後部裏の集じん口に、集じん機のホースを接続して使用してください（接続部内径は 45 mm です）。



機械の据え付け

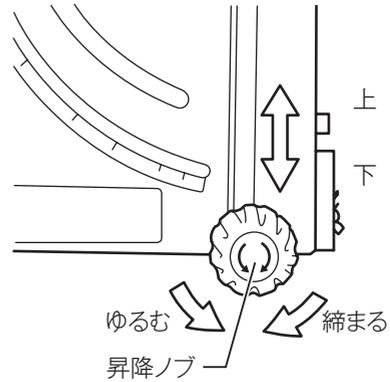
- ・ 傾斜のない平坦な場所に据え付け安定した状態にしてください。据え付けは床の状態によりアンカー、金具、ボルトなどでレッグLを固定してください。



使い方

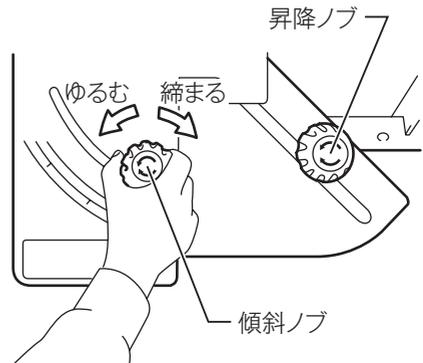
切り込み深さの調整

- ・ 切り込み深さの調整は、昇降ノブを左に回し、ゆるめた状態で昇降ノブを上下させて行ってください。調整後は、昇降ノブを右に回して固定してください。



傾斜角度の調整

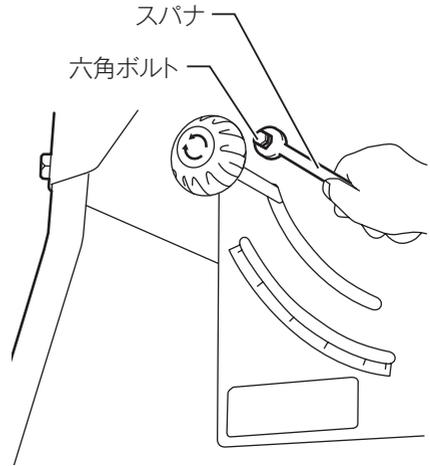
- ・ 昇降ノブをゆるめて下にさげてください（最大切り込みの状態から、そのまま傾斜させることはできません）。
- ・ 傾斜ノブを左に回し、ゆるめた状態でお望みの角度に合わせ、傾斜ノブを右に回して固定し、昇降ノブを上げて右に回して固定してください。



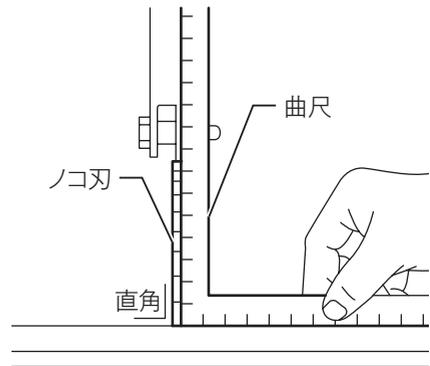
使い方

90°調整

- ・ ノコ刃はテーブル面に対し 90°で位置決めしてありますが、位置がずれた場合には、六角ボルトをお手持ちのスパナでゆるめてください。



- ・ 調整は、お手持ちの曲尺などでノコ刃とテーブル面が直角になるようにしてください。



- ・ アジャストナットの位置を調整し、六角ボルトを締め付けてください。



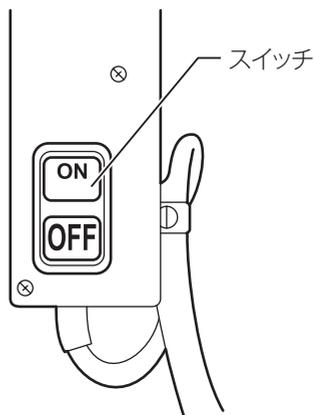
使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。
- ・ スイッチは「ON」のボタンを押すと入り、「OFF」のボタンを押すと切れます。



使い方

切断作業

⚠ 警告

手がノコ刃に接近する場合は、必ず押し棒など治具を使用してください。使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。

- ・ 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。

切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。

- ・ ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。

⚠ 注意

ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。

- ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。

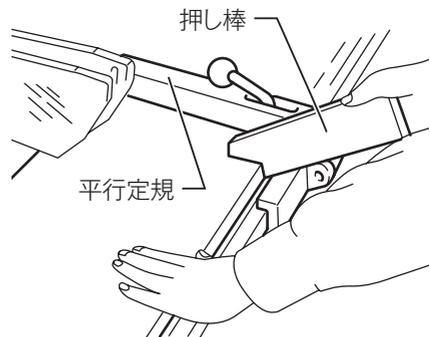
材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。

- ・ けがの原因になります。

平行定規は、確実に固定してください。

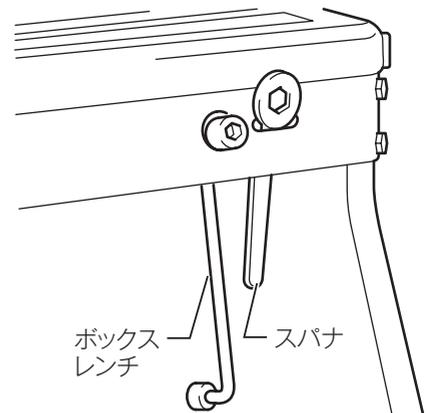
- ・ 固定が不十分な場合、材料がこじれてけがの原因になります。

- ・ 材料が安全ガイドに触れない位置でスイッチを入れてください。
- ・ 材料を平行定規に沿わせ、ゆっくり前へ押して切断してください。
- ・ 手がノコ刃に接近する場合は、必ず押し棒を使用してください。



工具の収納

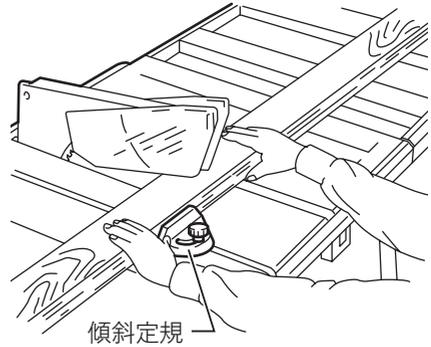
- ・ 付属工具などは、テーブル側面の穴に差し込んでください。



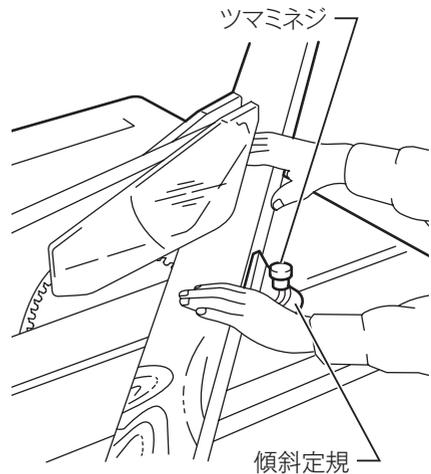
別販売品の使い方

傾斜定規

- ・ 平行定規で作業しづらい長尺物の切断に使用すると便利です。
- ・ 平行定規を取りはずし、傾斜定規をテーブルの上の溝にはめ込んでください。
- ・ 傾斜定規に材料をあて、傾斜定規と材料を両手でしっかり押さえ、ゆっくり前に押し切って切断してください。



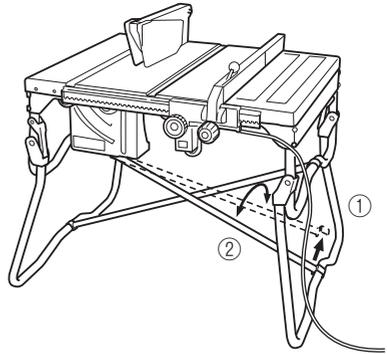
- ・ 傾斜切りをするときは、傾斜定規をお望みの角度にし、ツマミネジをしっかりと締め付けて切断してください。



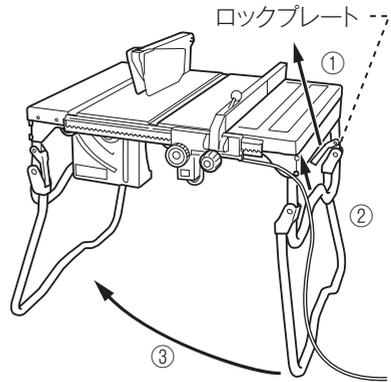
運搬・保管について

レッグの折りたたみ方

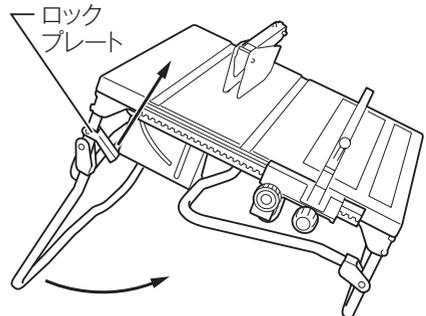
- ・ 本体部は以下の要領で脚部を折りたたむことができ、運搬や保管の際に便利です。
- 1. レッグサポータを外します。レッグL側のフック側を握り上方へ外し、握ったまま、左右いずれか回転させます。



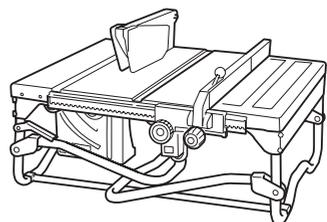
2. レッグSの中央を左手で持ち上げ、右手でロックプレートを上方へ外します。浮き上がったレッグLを足で内側へ押し、そのまま下ろしますとレッグLは内側に折りたためます。折りたたんだレッグLを少し上に持ち上げ深く折りたたんでおきます。



3. もう一方も2と同じ様に折りたたみます。



- ・ 外したレッグサポータをレッグSの握り部両側のパイプにはめておきます。



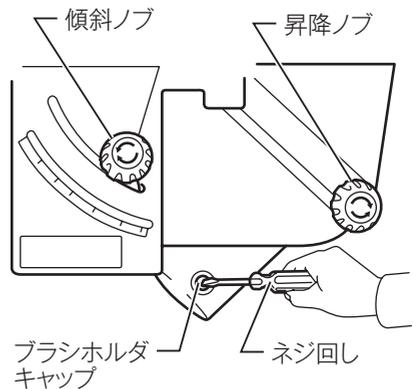
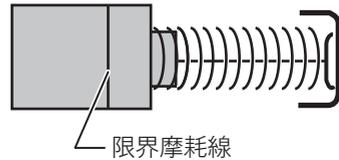
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ カーボンブラシの交換は、昇降ノブを回してノコ刃をいっぱい下げ、傾斜ノブをゆるめて45°傾斜させ、ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えてブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2コで1組になっています。取り替える場合は、必ず同時に行ってください。



本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881912G4
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)